

「愛媛の未来づくりプラン」推進懇話会の開催結果

- 1 9月2日（水）令和2年度第1回「愛媛の未来づくりプラン」推進懇話会（会長 東湊則之松山大学経営学部教授）の開催結果は以下のとおり。

○ 第3期アクションプログラム成果指標の進捗状況

事務局から、成果指標 204 項目中 155 項目（76%）で基準値より向上するなど一定の効果が見られたほか、復旧・復興指標及びターゲット指標についても、大半の指標で成果向上が図られた（復旧・復興指標91.7%、ターゲット指標85.7%）

一方、悪化指標については、少子・高齢化や後継者不足、新型コロナウイルス感染拡大等の影響を受けたものである旨を説明

	☆	◎	○	▲	—	合計
	目標達成	きわめて良好	基準値より上昇又は横ばい	基準値より悪化	目標設定中	
全指標	50	46	59	48	1	204
復旧・復興指標	2	4	5	1	0	12
ターゲット指標	4	8	12	4	0	28

○ 委員からの主な意見

- ・ コロナ禍の現状を踏まえた成果指標の見直しや評価が必要ではないか
- ・ コロナ禍で県内での就職を希望する学生や来年度就職活動を行う下級生が安心して就職活動を進められる環境の整備が必要
- ・ コロナ禍にあっても、経済団体等への働きかけや実施方法を工夫しながら、中学生の職場体験の機会の確保を確実に継続的に行うなど、キャリア教育への支援が必要
- ・ オンラインでの就職活動が進み、IT環境等で企業間に差が生じているため、中小企業等へのサポートが必要
- ・ 移住促進に当たり、医療体制と教育環境の整備・充実に取り組むことが必要
- ・ 学校における ICT 環境整備において、経済格差が教育格差につながる方策や IT に関する教員の資質向上が必要であるとともに、対面でも児童生徒が安心して学校生活を送れる様々な環境整備が必要
- ・ 気候変動適応に関する県民への積極的な普及啓発が必要

- 2 委員の意見については、令和3年度の重点戦略方針の検討に生かしていくこととする。